

## 2023年 ILCA 6(Radial)ユース世界選手権代表選手選考について

2022年11月1日に当クラス協会より公示された「2023年 ILCA 6(Radial)ユース/ILCA 4(4.7)ユース世界選手権等代表選手選考方針（以下、ユース選考方針）」における選手選考の基準とは異なる男女フリート分けのレースが最終選考会である JOC ジュニアオリンピックカップ(以下 JOC)にて実施されたことにより、選考方針の解釈を巡り問題が発生してしまいました。以下にその問題の詳細並びに選考方針の解釈に基づいた代表候補選手選考結果をお知らせします。

2023年5月4日から6日にかけて和歌山セーリングセンターにて開催された JOC において、ILCA6 男子及び ILCA6 女子は別々のフリートでレースを行っており、ユース選考方針に記載のある「JOC にて男女区別なしに最上位の選手 1 名に ILCA6 ユース世界選手権の代表枠を付与する」という選考基準と矛盾が生じる結果となってしまいました。

過去の JOC においては男女同一フリートでレースを実施していたため男女区別なしに最上位 1 名の選手を選定することは可能でしたが、今回のように男女別々のフリートになってしまうとどちらの 1 名に代表権を与えるのか、そのままでは解釈が不可能な状況となってしまいました。このような事態を招いてしまったのは、日本レーザークラス協会、JSAF オリンピック強化委員会及び JOC レース実行委員会の 3 者での事前連携および調整が不足していたためであり、関係各位に混乱を招いてしまったことを深くお詫び申し上げます。

日本レーザークラス協会強化委員会において検討した結果、以下の解釈にて代表候補選手を選考いたしました。

「2023年 ILCA 6(Radial)ユース/ILCA 4(4.7)ユース世界選手権等代表選手選考方針」

### 2. ユース代表選考

#### (3) 代表候補選手選考大会

- ①ILCA 6(Radial)ユース：2023年 JOC ジュニアオリンピックカップ 上位者 1 名  
(男女区別なし) (5月 和歌山)

ILCA6 においては男女別々のフリートで実施しており、男女区別なしで 1 名の選手を選定するために、クラス協会強化委員会は JOC 男子 1 位及び JOC 女子 1 位の選手について、ユース選考ランキングにて優先順位を設けることとしました。

JOC 男子 1 位は豊澄成光選手、JOC 女子 1 位はハムリンたりあ選手となっており、ユース選考ランキングでは豊澄選手が総合 1 位、ハムリン選手が総合 15 位のため、JOC(指定大会)における代表枠について豊澄選手に優先権を付与します。その場合、豊澄選手は JOC(指定大会)における代表枠とランキング 1 位による代表枠の 2 つの選考審査項

目において権利を獲得することとなり、ユース選考方針「3. 全クラス 共通事項（4）選考資格者が複数の選考審査項目において獲得する権利を有する場合」により、ランキングでの権利獲得が優先されます。そこで JOC(指定大会)における代表枠は次点のハムリン選手に付与されます。

よってクラス協会としては、ILCA6 ユース世界選手権代表について以下の選手を JSAF オリンピック強化委員会に推薦いたします（「2023 年 ILCA6/ILCA4 ユースセーリングワールド選考結果」にも当結果を記載）。

### **ILCA6 ユース男子**

- ・豊澄 成光選手 （ユース選考ランキング男子 1 位）・・・補助対象
  - ・太田 薫選手 （ユース選考ランキング男子 2 位）・・・補助対象
  - ・岡田 佳悟選手 （ユース選考ランキング男子 3 位）
- <次点>
- ・飯塚 竜士選手 （ユース選考ランキング男子 4 位）

### **ILCA6 ユース女子**

- ・ハムリン たりあ選手（JOC 最上位(次点)）・・・補助対象
- <次点>
- ・服部 春花選手 （ユース選考ランキング女子 1 位(※)）

(※)JOC(指定大会)における代表枠の繰り下げについてはユース選考方針「3. 全クラス 共通事項（3）指定大会における選考資格者がその資格を辞退した場合について」に記載がある通り次点であるハムリン選手までとなっており、それ以降はユース選考ランキング上位者から選定することになっているため、ユース選考ランキング女子 1 位の服部選手が代表候補としては次点となります。

以上